

キバナノヒメユリ

Lilium callosum Siebold et Zucc.
var. *flaviflorum* Makino
(ユリ科)



山草愛好家の卒業生から寄贈されたキバナノヒメユリが開花しました。本種は四国・九州・琉球、さらに中国浙江省から東北部、内モンゴル、沿海州、朝鮮半島に分布し、花被片は赤橙色のノヒメユリ(別名)スゲユリ*L. callosum*の黄花変種です。長崎県、沖縄本島、久米島、渡名喜島での分布が確認され、環境省のレッドデータブックで野生での絶滅の危険性が極めて高い「絶滅危惧IA類」に指定

されています。草丈60-100cmほどの多年草で、葉が線形。花被片は長さ3-4cm、黄色～橙黄色で花は下向きに咲き、多くのユリに見られる花被片内側の斑点は普通ありません。花の大きさは日本産ユリ属の中で最も小さく、可愛く感じられます。生育地は日当たりや風当たりが強い低地の原野や草地で、木が育たないような厳しい環境に生育するようです。(東京農大農学部植物園 伊藤健)

新・実学ジャーナル

2016年10月号 No.134
2016年10月1日発行
編集・発行 学校法人東京農業大学戦略室
〒156-8502 東京都世田谷区桜丘1-1-1
TEL. 03-5477-2300 FAX. 03-5477-2707
<http://www.nodai.ac.jp/hojin/>

定期購読ご希望の方は上記までご連絡ください。

2016 東京農大創立125年

学校法人 **東京農業大学**

東京農業大学 東京情報大学 東京農業大学短期大学部
東京農業大学第一高等学校 東京農業大学第二高等学校
東京農業大学第三高等学校 東京農業大学第一高等学校中等部
東京農業大学第三高等学校附属中学校